

# 相談支援事業所活動報告(刈谷市社会福祉協議会障害者相談支援センター) 資料5

## 1 概要

場所	高齢者福祉センター (ひまわり)内
相談員数	2名
開所日	月～金
開所時間	8時30分～17時15分
利用料	無料

## 2 活動報告(平成22年度4月～23年1月実績)

	平成22年度(4月～1月)		平成21年度(4月～1月)		差引(A-B)
	件数(A)	率1	件数(B)	率1	
相談件数	2,522		624		1,898
相談実人員	1,648		527		1,121

相談件数は前年同月期間(以下前年)との比較で4.04倍に増加している。

年齢	平成22年度(4月～1月)		平成21年度(4月～1月)		差引(A-B)
	件数	率	件数	率	
～17歳	220	13%	35	7%	185
18～64歳	1,374	83%	462	88%	912
65歳～	54	3%	30	6%	24
計	1,648		527		1,121

18歳未満の相談件数の割合が前年との比較で増加している。  
65歳以上の相談は極めて少ない。

障害の種類	平成22年度(4月～1月)		平成21年度(4月～1月)		差引(A-B)
	件数	率	件数	率	
身体障害	417	25%	103	19%	314
重症心身障害	12	1%	25	5%	△13
知的障害	718	43%	214	40%	504
精神障害	187	11%	81	15%	106
発達障害	88	5%	17	3%	71
高次脳機能障害	5	0%	0	0%	5
その他(障害者手帳非所持/不明)	242	14%	92	17%	150
計	1,669		532		1,137

手帳所持の割合、約「身体4,000人(76%)」「知的700人(13%)」「精神550人(11%)」と比べると、「身体障害」の割合が低い。  
身体・知的が中心の相談支援センターだが「精神障害」の相談も11%ある(単発で終わる相談がほとんど。継続性のある相談の場合は悠々を紹介している)

支援方法	平成22年度(4月～1月)		平成21年度(4月～1月)		差引(A-B)
	件数	率	件数	率	
訪問	321	13%	85	12%	236
来所	616	24%	97	14%	519
同行支援	34	1%	59	8%	△25
電話/FAX	1,346	53%	296	42%	1,050
電子メール	33	1%	2	0%	31
個別支援会議	44	2%	32	5%	12
関係機関との連絡調整	117	5%	104	15%	13
その他	38	1%	22	3%	16
計	2,549		697		1,852

支援方法については、「来所」「電話/FAX」での支援で約80%を占める。「訪問」による支援も10%を超える。前年と比較すると「来所」「電話/FAX」の割合が大幅に増加している。

相談者	平成22年度(4月～1月)		平成21年度(4月～1月)		差引(A-B)
	件数	率	件数	率	
本人	839	29%	268	30%	571
家族/親族	426	15%	127	14%	299
行政機関	319	11%	133	15%	186
学校	92	3%	11	1%	81
医療機関	108	4%	67	7%	41
地域(知人、民生委員、近隣住民等)	31	1%	11	1%	20
関係機関/事業所	997	35%	266	29%	731
その他	39	1%	20	2%	19
計	2,851		903		1,948

「本人」「家族」からの相談を合わせると45%程度  
「関係機関」、「行政機関」との相談も合わせると45%程度を占める。「地域」や「学校」からの相談は少ない。  
前年と比較すると関係機関からの相談割合が増加している。

相談内容	平成22年度(4月～1月)	
	件数	率
福祉サービスの利用	523	24%
障害や病状の理解 (障害の受容・理解に関して本人や家族への支援)	53	2%
健康・医療	154	7%
不安の解消・情緒安定 (不安や孤独感の軽減を目的とした傾聴)	211	10%
保育・教育	105	5%
家族関係・人間関係 (家族関係、人間関係の調整に関する支援)	101	5%
家計・経済 (年金・手当・生活保護制度に関する支援)	46	2%
生活技術	360	16%
就労	151	7%
社会参加・余暇活動	53	2%
権利擁護	22	1%
相談者への支援のための会議出席(ケース会議等)	201	9%
相談従事者の資質向上のための研修会等への参加	93	4%
その他	131	6%
相談支援合計	2,204	

更  
相  
し  
談  
い  
る  
内  
容  
た  
め  
つ  
前  
い  
て  
年  
度  
は  
と  
昨  
年  
度  
と  
は  
集  
計  
項  
目  
を  
大  
幅  
に  
変

「福祉サービスの利用」24%でトップ、以下「生活技術」16%「不安の解消・情緒安定」10%と続いている。「その他」の内訳としてはサービス計画の作成が87件と約60%を占めている。  
「障害や病状の理解」、「家計・経済」、「社会参加・余暇活動」、「権利擁護」に関する相談は少ない

## 3 その他の活動

- ・発達障害やひきこもりの方を対象にした交流会を開催(「料理教室としゃべり場」外出してもらうきっかけづくり)
- ・講演会の実施等(発達障害についての講演会の開催、学校等が主催する利用者向けの研修会に相談員として参加、刈谷病院の発達障害親子教室に講師として参加)
- ・小学校高学年の重症心身障害児の長期休暇中の居場所について市内関係機関・当事者と検討の場を設けた

1 概要

場所	心身障害者福祉会館内
相談員数	2名
開所日	月～土
開所時間	9時～16時30分 (土曜は12時30分まで)
利用料	無料

2 活動報告(平成22年4月～23年1月実績)

	平成22年度(4月～1月)		平成21年度(4月～1月)		差引(A-B)
	件数(A)	率1	件数(B)	率1	
相談件数	1,590		861		729
相談実人員	1,692		960		732

相談件数は前年同月期間(以下前年)との比較で1.85倍に増加している。

年齢	18～64歳		65歳～		計
	件数	率	件数	率	
	1,665	98%	827	86%	
	27	2%	133	14%	△ 106
	1,692		960		732

65歳以上の相談は極めて少なく、前年と比較しても割合は低下している。

障害の種類	身体障害		重症心身障害		知的障害		精神障害		発達障害		高次脳機能障害		その他(障害者手帳非所持/不明)		計	
	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率		
	2	0%	0	0%	52	3%	35	4%	857	51%	521	61%	1	0%		0
	0	0%	0	0%	1	0%	1	0%	4	0%	9	1%	776	46%		295
																△ 5
																481
																831

「手帳所持非所持/不明」を除けば「精神障害」がほとんど。「知的障害」の件数については、家族に精神障害を持った人がいて、社協に協力して悠々も活動しているケース。前年と比較するとその他(障害者手帳非所持/不明)の割合が増加している。

支援方法	訪問		来所		同行支援		電話/FAX		電子メール		個別支援会議		関係機関との連絡調整		その他		計		
	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率			
	183	12%	24	3%	399	25%	264	31%	82	5%	28	3%	434	27%	466	54%		△ 32	
																			11
																			6
																			395
																			1
																			729

支援方法については、「電話/FAX」、「来所」での支援で50%を超えている。関係機関との連絡調整が30%程度を占めており前年より大幅に増加している。

相談者	本人		家族/親族		行政機関		学校		医療機関		地域(知人、民生委員、近隣住民等)		関係機関/事業所		その他		計		
	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率			
	1,003	59%	590	61%	163	10%	125	13%	168	10%	91	9%	1	0%	3	0%		△ 2	
																			119
																			24
																			102
																			△ 39
																			732

「本人」と「家族」で70%程度を占めている。「行政機関」、「医療機関」、「関係機関」がそれぞれ10%程度を占めている。これら項目は前年より割合が増加しており本人を支援する各機関との連携が図られてきている。「地域」、「学校」の相談は少ない。

相談内容	福祉サービスの利用		障害や病状の理解 (障害の受容・理解に関して本人や家族への支援)		健康・医療		不安の解消・情緒安定 (不安や孤独感の軽減を目的とした傾聴)		保育・教育		家族関係・人間関係 (家族関係、人間関係の調整に関する支援)		家計・経済 (年金・手当・生活保護制度に関する支援)		生活技術		就労		社会参加・余暇活動		権利擁護		相談者への支援のための会議出席(ケース会議等)		相談従事者の資質向上のための研修会等への参加		その他		相談支援合計	
	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率		
	534	14%	701	19%	474	13%	847	23%	0	0%	433	12%	51	1%	163	4%	143	4%	120	3%	35	1%	14	0%	19	1%	170	5%		3,704

更し相談内容について前年度と昨年度とは集計項目を大幅に変

「不安の解消・情緒安定」23%でトップ、以下「障害や病状の理解」19%、「福祉サービスの利用」14%と続いている。「その他」の内訳としてはさくらんぼの会(不登校、発達障害の子どもを持つ家族同士の交流の場)に対する支援が104件と60%程度を占めている。「保育・教育」、「家計・経済」、「権利擁護」に関する相談は少ない

3 その他の活動

- ・民生委員及び関係機関の職員を対象とした講座を2回開催  
(講師:こころのクリニック西尾院長 芳賀幸彦先生、守山荘病院名誉院長 小林宏先生)
- ・不登校及び発達障害の子どもをもつ家族同士の交流の場作りの支援。毎月1回集いの場(さくらんぼの会)を継続支援
- ・就労支援(求職活動援助、就労中のケアなど)